

※一部掲載について、東京法令出版様の許可を得ています。

## 火災事例に学ぶ

# リサイクル工場火災の戦術と課題、今後の火災予防について

射水市消防本部（富山県）

### 1 はじめに

富山県は、3000m級の山々が連なる立山連峰から水深1000mを超える富山湾に至るまで、高低差4000mのダイナミックに変化に富んだ地形を有しており、植生自然度本州一が示すように、美しく豊かな自然環境に恵まれている。

全国第1位の持ち家率や1住宅あたりの延べ面積が示すように、富山県の居住水準は全国トップクラスにあり、道路をはじめとした社会資本の整備や全国出火率・全国最小28年連続という火災発生件数の少なさと合わせて、

住みよい環境を形成している。

また、良質米として評価の高いコシヒカリをはじめ、平成30年秋には新品種「富富富」が開発され、米どころである一方、質の高い労働力、豊富な電力と水、充実した物産・交通網、ものづくりの伝統、日本海側屈指の工業集積など優れた産業基盤もある。さらに、次代を担う子どもたちを育てるため、学校教育では、確かな基礎学力の定着を図るとともに、個性・創造性・生きる力を伸ばす教育を展開している。

こうした県民の安心、安全を守るべく、県内8消防本部が連携して、日本一の安全・安心の県づくりを目指している。

そのなかで、射水市は富山県の海岸沿いほぼ中央に位置し、日本海側最大級の斜張橋である新湊大橋をはじめ、海王丸パークや太閤山ランド、映画やドラマのロケ地と



五十嵐 晃 消防長

射水市消防本部の管轄区域



管内概要図

なった内川、そして、海、川、野、里山などの豊かな自然、さらには連続と受け継がれてきた伝統文化など、多くの魅力ある地域資源に加え、港湾・高速道路・鉄道といった物流の拠点となりうる社会資本も備えている。

また、国際拠点港湾である富山新港の背後地に、事業所・工場の立地が多く、これらの安全を図ることも重要であり、企業者の理解を得て、官民挙げて対応している。

このように、射水市は、数多くの確かな地域力とともに、「人の流れ」「物の流れ」の中心として発展できる無限の可能性を秘めた、

「いいとこ、いいもの、ギョギョッと！射水」をキャッチフレーズに魅力あふれる素晴らしいまちである。

管内人口は、9万2935人（令和元年8月31日現在）、消防組織は1本部・2消防署・2出張所、消防職員115人、消防団1本部・29分団・団員726人を配備し災害に備えている。

今回の事例は、企業（出火元）と当消防本部、県広域消防防災センターが連携協力して防火対策を検討しているなかで発生した火災であり、鎮火まで長時間を要した火災事例である。火災後における企業側の対応と今後の火災予防への取組を踏まえて検討した。

### 2 火災の概要

表のとおり。

### 3 消防活動について

#### ① 火災現場付近の状況

火災現場は、工業専用地域に指定されており周辺域は工場が建ち並んでいるが、現場の西側には専用住宅が密集している地域である。現場建物を中心とした半径140m以内に防火水槽が2基、消防用水が1基あるものの長時間

表 火災の概要

火災種別	=建物火災
出火年月日	=平成30年12月19日(水)
出火時刻	=2時00分頃
覚知時刻	=4時29分(携帯119)
鎮圧時刻	=12時05分
鎮火時刻	=21時10分
気象状況	=天候：雨 風向：南 風速1.3m/s 気温：3.6℃ 湿度98.0% 気象注意報：雷注意報
建築構造	=鉄骨造2階建て 消防法施行令別表第一(12)項 工場
建築面積	=4,522㎡
死傷者	=なし
焼損表面積	=249㎡
出火原因	=不明
出動車両	=消防署10台 消防団7台
活動人員	=消防署 延べ89人、消防団40人
活動時間	=16時間40分



先着隊の消火状況



チューリップ型バケット付重機